

名詞止め（体言止め） 短歌の終わりを名詞で止め、リズムをととのえたり
味わいを深めたりする方法です。

海恋し潮の遠鳴り数へてはをとめとなりし父母の家

与謝野晶子

問 次のなかで名詞止めを用いている短歌を二つ選びなさい。

ア 碓氷嶺の南おもてとなりにけりくだりつつ思ふ春のふかきを

北原白秋

イ みちのくの母のいのちを一目見ん一目みんとぞただにいそげる

斎藤茂吉

ウ いちはつの花咲きいでて我目には今年ばかりの春行かんとす

正岡子規

エ 春過ぎて夏来たるらし白たへの衣干したり天の香具山

持統天皇

オ 石崖に子ども七人腰かけて河豚を釣り进行夕焼け小焼け

北原白秋